

2015年3月 地域自然情報研究会



モンゴルにおける異常気象ゾドに向けた 早期適応システムの開発

大場 章弘 氏

モンゴルは気候変動の影響で、ゾドと呼ばれる大雪害や冷温などの異常気象による家畜の大量死がもたらされている。ゾドによる気候変動リスクを低減するためには早期適応指示が届く仕組みが末端行政区域である町村（ソム）スケールで求められている。草地生態系や家畜の生産基盤である遊牧社会を形成する要因の違いによって被害の大きさは異なるため、早期適応指示の内容を町村ごとに設定することが重要である。本プロジェクトでは遊牧民や町村行政が適応できる仕組み作りに向けて、町村レベルのゾド被害量の要因を明らかにし、リスク低減に寄与する情報を携帯電話でソム行政および遊牧民に伝えるための早期適応指示システムを構築し、現在複数のソムで実験している。本発表では当プロジェクトのこれまでの成果と今後の展望について紹介する。

開催日時

2015年3月22日(日) 14:00~16:00

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレス、会員種別をご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail:gcnken@gmail.com

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当: 梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>